

tokyo Asuika!

福山葦陽
東京同窓会
広報誌
2007

01
創刊号

【あしび】

ひ するし
陽の誌

2006年を振り返る



祝 母校創立100周年!
福山で盛大に式典が挙行されました

【東京同窓会—20周年を迎えて】
新たな節目に向かって今…



1990年(平成2)6月3日建立

東京同窓会
20回の節目



福山葦陽東京同窓会
会長 来山 和義
(昭和28年卒)

「あしび」の創刊にあたって

昨年十二月に開催した役員・幹事会で広報誌の発行が決まり、即時チームを編成して鋭意作業を続けてきた結果、このほど「あしび」を創刊することができました。

その間、取材、編集会議等を重ねる傍ら、時を同じくして、協賛広告料にかかる税法上の処理の仕方やデータ・映像の使用方法等、発行に際しての留意事項を洗い出して検証し整理する作業も進めて参りました。

まさに「あしび」は、発行に携わった方々の献身的な作業の賜物であり、ご尽力に対して敬意を表し深く感謝申し上げます。

私ども、昨年は、母校創立百周年の僥倖に恵まれ、当同窓会も二十回目の総会を肅々と開催しました。(北区滝野川会館)

この大きな節目の年を経て、こ



前原校長、赤松会長、小丸副会長を来賓に迎え(平成18年)滝野川会館にて

ここに「あしび」の創刊を見たことは、時宜を得た画期的事業であると思います。

同窓会の役割は、卒業生の親睦、相互研鑽、母校への貢献等ですが、昨今、個人情報等の収集等が難しくなり、同窓会の活動基盤の整備等に支障が出てきています。

それ故、「あしび」を媒体として、交友の輪を広げ、相互の絆を強化することで同窓会が活性化し、存在意義が再確認されることを願っています。

「ローマは一日にして成らず」の諺を深く肝に銘じ、今後とも本部同窓会との連携を図りつつ、皆さまからの意見・要望も取り入れた身近な広報誌として充実に努めて参りますので、ご期待いただき、引き続きご支援・ご協力ください。皆様様の益々のご健勝・ご活躍を祈念申し上げ創刊の挨拶とします。



赤坂シュビアホール
スクリーンの前で校歌斉唱(平成17年)



五反田ゆうぼうとにて
友竹正則さん



同期とはいえ久し振り
(平成9年)

二次会、三次会は
先輩後輩関係なし
(平成9年)



東京プリンスにて(昭和63年)



駒場エミナスにて(平成元年)

26 戴本勝太郎	26 北村孝俊	25 藤永政江	25 占部健夫	24 永島靖子	24 川原絹子	24 市橋信子	24 石山勝子	23 竹政昌子	23 山本晃子	23 堀惠若枝	23 藤本恭子	23 藤井幸子	23 高比良欣字	23 左山邦恵	23 作田敏子	23 北中三重子	23 宇田白枝	23 石藤千代子	21 橋本美津子	21 豊沢朝子	21 田中昭子	21 高木基子	21 平都	21 佐藤美恵子	20B 細田智恵子	20A 芽出隆子	20A 藤井和枝	20A 杉本みどり	20A 坂部住江	19 茂森満子	17 宮島幸路	小丸順子	◆福山副会長	◆校長	◆福山会長		
35 佐野禎信	34 開原剛	34 中山格三郎	34 連石勉	33 吉井和子	33 山下恵子	33 小川敏彦	32 柳田幸恵	32 福田桂子	32 植草和栄	32 池田朗子	31 三島克紀	31 前原一夫	31 占部勲司	31 岩瀬健祐	30 柳井淑彦	30 森岡辯	30 神原弘男	30 小田富子	29 山本治雄	29 多田正志	29 黒田久子	28 渡部洋子	28 森島健三	28 綱雅功	28 永島直子	28 長島志津子	28 下博行	28 小林玲子	28 小林博子	28 来山和義	28 加藤信子	28 片岡礼子	28 岡崎元春	28 今井裕子	26 松浦功	26 橋本文子	26 徳永巖
58 橋高耕平	50 福島博行	48 八谷登	48 相原謙一	45 鶴見恵子	45 澤村育子	45 鳥住保博	45 佐藤公信	45 寄國雅子	45 寄國聡	44 住谷敏日子	44 古川春美	44 猪原悟	44 清川茂子	43 中下照江	43 木下照江	42 三谷豊実	42 黒田真理子	41 広江邦男	41 正田典晟	40 片岡正昭	40 田丸佐知子	39 佐藤松枝	39 神山勝子	38 坂本昭博	37 高橋淳美	37 垣原洋昭	37 岩瀬浩造	36 島田裕郷	36 松田恵子	36 向井総昭	36 東早苗	36 高田稔	36 神原勝之	36 井上哲也	35 安達博	35 山本良三	35 村上光

第20回同窓会出席者
数字は卒業年度

お詫び) ▲小さな文字で見にくくて申し訳ありません。次回から虫メガネを同封しましょう。予算があればですが…(井上)

100th anniversary

福山葦陽高等学校は昨年創立100周年を迎えました。 さらなる飛躍に向けて



写真で見る母校の100年
記念誌「悠久の譜」より



福山高等女学校
明治39年（1906年）



福山高等女学校
大正5年（1916年）



福山高等女学校
昭和15年（1940年）



福山葦陽高等学校
昭和28年（1953年）



福山葦陽高等学校
昭和32年（1957年）



福山葦陽高等学校
昭和45年（1970年）



福山葦陽高等学校（久松台校舎）
平成18年（2006年）



祝 広島県立福山葦陽高等学校
創立100周年記念式典

福山葦陽同窓会
会長 赤松 治美

式典で挨拶をする前原校長

広 広島県立福山葦陽高等学校の創立一〇〇周年記念式典が昨年十月二十九日、ふくやま芸術文化ホール リーデンローズ（福山市松浜町）で行われました。

一部の記念式典には、生徒や同窓生、保護者ら約千五百人が出席。前原幸三校長が「これからも地域から愛され、信頼される高校として、新生福山葦陽高等学校の創世に向けた第一歩を踏み出して欲しいと願っております」と述べ、続いて、赤松治美同窓会長が「この百年の歩みが一段と力強いものになることを祈念しております」と挨拶した。

二部では、同校出身のオペラ歌手で、現在はナポリを拠点にフリーとして演奏活動している、亀川敬子さんと吹奏楽部の生徒たちによる記念演奏が行われた。母校は一九〇六年（明治三十九）年、旧福山城趾三之丸の西側に福山町立女学校として開校。一九二二（大正一）年に県立福山高女、一九四八（昭和二十三）年の学制改革で



校歌斉唱する参加者

第二部で熱唱するオペラ歌手の
亀川敬子さん（昭和50年卒）

男女共学となり、南高校、葦陽高校と変遷を重ね、一九八二（昭和五十七）年には久松台に移転し、現在に至った。これまでの卒業生は二万七千三百七十二人。

（中国新聞備後支社発行広島県立福山葦陽高等学校創立一〇〇周年記念式典記念号より）

創立100周年記念事業 前面改修された図書館

500余にのぼる地域企業・団体等からの広告・寄附のご協賛、同窓生2,000余名からのご寄附により創立100周年記念事業として校内図書館の整備、図書室前、庭園整備、図書購入が行われました。

創立100周年記念誌の発行

創立100周年を記念しまして、記念誌「悠久の譜」を発行。福山高等女学校時代の鳥瞰図や戦前からの備品など歴史を語る資料、写真でつづる葦陽高校100年史、卒業生と在校生の28,392人の学年別集合写真（卒業アルバムより）など大変に楽しめる内容になっています。



記念誌発行



●お問い合わせは
キシマ印刷まで
TEL 084-923-3415

同窓会の変遷

旧制高女時代から合同同窓会までのいきさつと変遷をご紹介します。

(昭21・22年卒 豊沢朝子)

福山葦陽東京同窓会

(旧制高女卒・新制高校卒合同)は昨年(平成18年)9月2日めでたく第20回総会を開催いたしました。

旧制卒のみの同窓会が高齢化の為、年々消えゆく中、私達(老女)は後輩の方々のお蔭で毎年会場を代え、趣向をこらした総会に出

席させて頂く事が出来、本当に幸せでございます。この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

さてこの度、「あしび」創刊に当りこの頁を頂いて、昔々の葦陽東京、を顧みる事にします。

始まりは昭和五年

合併前(昭61年)までは「福山葦陽同窓会東京支部」と称して戦前からございました。その辺りについては山本秀子様(大正8年卒)が「母校創立70周年記念誌、支部だより」に次の様

に書いておられます。

「昭和5年から15年まで春秋二回、出席者は30人位、恩師も一人位出席下さり、楽しい集いを致して居りました。その後太平洋戦争の為、自然消滅となり…」

戦後再開

戦後は何年に再開したのか今、どなたに聞いてもはっきりしません。私共(昭21・22年卒)が初めて参加したのは、昭和28年11月29日、会場は文京区西片町旧福山藤主阿部様のお邸(葦陽俱樂部)で

した。広い庭園に面した和風の大広間で出席者数など、はつきりと覚えていませんが、確か男性(学生さん)が二、三人居られたと記憶しています。

その後については再び前記の山本様の文が続きます。「昭和30年5



50.4.25 原前 水交会



月13日、終戦後はじめて男女合同で、男の方の紹介で参議院会館を拝借して、同窓会が開催され、感無量に

人の出席もなくなりました。」

この後、昭32年から61年までは貴重な資料「写真」「福山葦陽同窓会東京支部記録帳」(毎年の当番幹事直筆)が現存していますので、それに基づいて合併までの変遷をまとめてみたいと思います。

先ず、前半昭32年から49年までは春秋二回の集会、会場は当初前記の葦陽俱樂部(38年蕉雨館と改称)が

最多で、その他星が丘茶寮、湯島聖堂など44年に蕉雨館が移築(南軽井沢に昔のままで現存)下記参照)とされた後は実践同窓会館、水交会、朝倉彫塑館等々、毎

回の会場探しに当番のご苦労が偲ばれます。出席者は30名から60名と徐々に増え、出席

の先生は宮武、牛込、小島、浮乗、信岡先生など懐かしいお名前が記録されています。

後半昭50年からは、「春一回、会場も水交会(東郷記念館)に固定」ときめて、61年に達しております。

出席者は大体60名位(95名の参加が一回)その頃、音楽の鈴木、家庭の桑田、地理の高升、数学の奥田先生のお名前が登場します。その間、以前から何度も検討されていた新旧合同の機運が徐々に高まって参りました。

いよいよ合併に向けて

昭和61年始めて新制卒の男性(昭25年卒小川、占部様)を迎え、旧制は博田、藤井、正副支

部長、山本、桑田、枝、竹島様、学年幹事、当番幹事(昭15年卒)の方々が何回か熱心な意見交換を行い、話を煮詰め「翌62年より合同で同窓会総会開催」と定まったようです。当時の皆様方に唯々頭の下がる思い

でございます。

かくして、新旧合同の「福山葦陽東京同窓会」第一回総会が昭和62年5月13日に八重洲「鉄道会館ルビーホール」で

開催、出席者172名、本部(福山)の小川一三会長もご出席、友竹正則様の独唱もあつて、高揚の雰囲気を感じました。尚、「東京同窓会」の会長も博田支部長から奥田会長に引き継がれ、平成10年の第12回までご活躍いただきました。

奥田会長は去る平成19年3月2日ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りすると共に、会のご尽力くださいました功績に対し心から感謝申し上げます。でございます。

最後に文中の山本様は90歳、毎回幹事に紙人形を作ってくださった重政様(明治45年卒)は100歳までご出席なさいました。皆様も健康に留意され一回でも多く参加致しましょう。「合併後は二号に」

元気です！

昭和
20年・A卒



藤井和枝・坂部住江
(葉山町在住) (横浜市在住)

十年間続いたクラス会を支えた友情

戦火の激しい時代に女学生としてすごしましたので、在京の友人との再会は又格別な喜びでした。

八十歳迄頑張って「毎年集まりましょう」と約束して十年になります。今年も恒例のクラス会を去る五月三十日、

九名との出会いがあり皆様笑顔で集まり、身辺雑感のついた事等話し乍らお互いの健康に感謝しております。

これからは自分らしく元気で過ごしていきたいと思う今日この頃です。

四月初旬、帰郷致しました。満開の桜をバックに、福山城を眺める事が出来ました。やはり、お城は町のシンボルで、「心の支えだ」としみじみ感じました。

昭和
28年卒



永島直子 (杉並区在住)

東京二八会、ますます盛会なり

昭和二八年卒同期会の名称は二八会。福山二八会、関西二八会、そして東京二八会と三つの会が五十余年を経た現在、なお健在である。來山会長を擁する東京二八会も活発さを自負している。五月、銀座での会は、二十一名出席の盛会ぶり。

宇田前広島銀行頭取も参加というおまけがつき、大いに飲み食、しゃべり、お互いに生きる力を得たことであつた。右の写真から、その雰囲気をご想像下さい。

六回目的の干支を迎え、現職者は少ないが、趣味や特技を生かして、第二の人生を、それぞれ楽しんでる。

九十歳の東京二八会は？ その記事を、このAshibiにぜひ載せたいと思つている。

昭和
32年卒



石井義信 (海老名市在住)

好きなサッカーで日本代表の監督も

サッカーを始めて五十二年、職業としてなりたない時代でしたが、東洋工業、藤和不動産、フジタ工業、ベルマーレ平塚で選手、コーチ、監督、フロントを勤め、今F.C.東京でアドバイザーについております。

好きが高じてと言うよりも、その時の時代に流されてのサッカーでしたが、日本代表の監督も経験できたことは何よりでした。

十年前から石垣島のサッカー普及活動に関わり、現在年数回幼稚園、小学校の体育授業の指導をしています。歳を取るのを忘れる一瞬があります。

この歳での喜び、ボール遊びを無心で楽しんでいる子供を見ることができません。

昭和
38年卒



坂本昭博 (武蔵野市在住)
“孫子”78代目ご夫婦と

“孫子”を五大聖人にするために活動しています

「彼を知り己を知れば百戦して殆からず」これは名文句中の名文句です。アメリカは日本と戦争をするようになってから日本を知ろうと一所懸命努力しました。ところが日本は英語をやめるとか英米の研究を抑えるとかしたので勝てるわけありません。戦後間もなくアメリカへ行つて摩天楼の並ぶ通りを歩いてた時、こんな国と戦争をする事を考えた先輩達が憎いと言つていた日本人がいたそうです。

孫子国際センターというNPO法人を内閣府よりいただき2500年前の孫子について指導を受けています。平和主義者孫子を四大聖人に加え、五大聖人となるように世界の人達と運動をしています。

昭和
44年卒



猪原 悟 (小田原市在住)

箱根でボランティアの事務局やっています

箱根は、首都圏に近い国立公園です。周囲は、山の手線とほぼ同じ距離の外輪山を擁しています。植物・動物・歴史・石仏・関所と《不思議王国箱根》は、歩けば歩くほど四季を問わず語りかけてくれます。

パークボランティアは、それらを分かりやすく解説し、箱根の大好きな人の集まりの中で、自然を大切にしようという活動をしています。

箱根ボランティア解説員連絡会は、平成19年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰を自然ふれあい部門で受賞しました。環境省とボランティアの橋渡しです。裏方の人生を楽しんでいます。

一度、箱根ビジターセンターを訪れて見て下さい。

昭和
58年卒



藤井成裕 (横浜市在住)

あの頃あんな事をしていたんだー

土日はバドミントンの日。そう決めて近所のクラブ、他のサークルを掛け持ちして7年が経ちました。この4月は合宿にも参加。練習後、民宿の畳に寝転んでみると、1年生まで通った城の下の校舎で合宿したことを思い出しました。教室に柔道場の畳を敷いて寝泊りし、食事は引退された3年生の先輩に用意して頂いたこと。西宮での階段10周に始まり、ダッシュ、サーキット、フットワーク、基礎打ち、ノック…と毎日よくやっていたなーと感心しながら、明日に備えビールと舟盛りで栄養をつける。半年に一度の楽しみです。全国大会を目指しています。先輩、後輩の皆様、どこかの大会で見かけましたら声を掛けてください。

【連絡したい方は…】

裏表紙の、インターネット「福山葦陽東京同窓会掲示板」か広報誌編集室までお問い合わせ下さい。

集まる。今年もまた、同窓会で会いましょう！

みなさんお元気ですか？

東京で広島を探すなら
先ずココ



<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/tokyo/>
アンテナショップ広島ゆめてらす
新宿の南口すぐであり、東京では滅多に
手に入らないモノがズラリ! 品揃えも充実。
お隣は今ウワサの宮崎県の県物産

我等が若きリーダー(寺田和正
59年卒)が起業した、今や世界
を魅了するサマンサタバサ。気
になる方はのぞいてみて下さい



<http://www.samantha.co.jp/>
サマンサタバサ
今や世界のサマンサタバサ

身近な良いもの
郷土の製品



<http://www.kyoshinkai.jp/>
郷心会
郷土のいろんな製品を紹介
してあるホームページ。
こだわりのある方はのぞいて
みて下さい

今が旬
なったり



おいしい料理の
新常識
<http://www.veristores.com/teraokake/>
寺岡家のお醤油
福山市神村町にある「寺岡有機醸造」
の有機醤油があらこちらで大評判!
見かけたら是非ウラのラベルを見るべし



故郷のうまい酒を飲む
広島酒の酒であっても、甘口から辛口、
淡麗から濃厚まで味わいは多彩。個性
的な酒が県内各地で造られています
<http://www.hirosake.or.jp/kuramoto/fukuyama.html>
広島酒

Bingo じゃけん
Fukuyama
福山を

知る。探す。

遠く離れていても気になる故郷。
インターネットを使えば知りたい情報をすぐに得ることができる。
WWWはアナタにとってとても強い味方になってくれるはず。



ご存じ。阿藻珍味
郷土のお土産として定番中の定
番。今や元祖「尾道ラーメン」も
大評判、やはり瀬戸内海のパワ
ーは全国区だな
<http://www.amochinmi.com/>
阿藻珍味



気になる鞆の浦のこと
<http://www.tomonoura.co.jp/>
福山・鞆の浦

鞆の浦が各方面で話題を振
りまわっています。気になる開
発の事や、今やお湯処、温泉
地として話題沸騰、必見の
ページ。エッ、あの鞆の浦が：



くらしやイベントほか、市町村合併や
各地の開発など目まぐるしく変わっ
ていく郷土の状況はいつになっても気にな
ります
<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/>
福山市

今日の福山を
知るには一番



地元の気になる
ニュースなら

地元のニュース・話題など一番
身近な情報源として、毎日見て
いたいホームページかも?
<http://www.chugoku-np.co.jp/>
中国新聞

郷土の話題
離れていても

HP一次ページ上段の情報です。

素晴らしい森 千景さんの絵手紙の世界!!

- HP① 森 千景 [検索](#)
- HP② 西東京市弓道連盟 [検索](#)
- HP③ 箱根ビジターセンター [検索](#)

これからは、頑張る中年の楽しみは「弓道」

知れば知るほど不思議な箱根をもっと知ろう!!

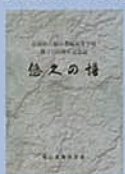
その他
の情報

「福山会」



福山の東京事務所は「福山会」の事務局でもあり、親睦を図ることを目的とします。「広報ふくやま」についてもお問い合わせ下さい。
●03-3263-0966

「悠久の譜」



福山葦陽創立100周年を記念して発行された「悠久の譜」のお問い合わせは
●キジマ印刷
084-923-3415
残部僅少! お早めに



素晴らしい箱根を
ご案内しますヨ

またまた出て参りました。ボランティアには、話したを少しでも直せるのかなという思いと、歴史が好きだったので、いつも自動車で行けなかった箱根を歩くのも面白いと感じて応募しました。知れば知るほど不思議。四季を通じて花の咲く箱根。一度、箱根ビジターセンターを訪れて見て下さい。HP ③

●猪原 悟(昭和44年卒)
●小田原市在住



50の手習いも
ここまで来ました

市報に初心者教室の案内があり、そろそろ何かやらないと思っていました。弓は初めてでしたが、2ヵ月間の教室が終わった頃には、もう弓の虜になっている自分がいました。あれから5年経ち、頑張っ(て?)参段になれました。仕事だけの昔と違って休日に来るのが毎週楽しみです。どうです"弓道"やりませんか? HP ②

●寄国 聡(昭和45年卒)
●西東京市在住



10年になります
絵手紙をはじめて今年で

ジャズバンドの事務局の仕事で、はじめてニューオリンズへ行ったその2週間後にあのハリケーン。あの誰でも受け入れてくれる楽しい雰囲気をお忘れせん。絵手紙は先生の絵に魅せられて今年で10年になります。先生のホームページも作っています。下手でいいと思えば楽しいですよ。やってみませんか。HP ①

●細川ハテミ(昭和35年卒)
●浦安市在住

ふれあい通信 ①
自慢、お誘い、展覧会情報、ホームページの紹介などなんでも...



information

お知らせします!

ご逝去は同窓会案内八カギ通信欄より

◆以下の方々がお亡くなりになりました、慎んでご冥福をお祈り致します。

- 高升キミ先生●昭和17年卒 初代東京同窓会会長 奥田良子さま●大正10年卒 中川通子さま
- 大正14年卒 奥田美子さま●昭和2年卒 大木セツコさま●昭和2年卒 喜多村 治さま
- 昭和4年卒 枝 キクコさま●昭和9年卒 小寺松子さま●昭和16年卒 清水横子さま
- 昭和19年卒 岩見明子さま●昭和28年卒 三好 脩さま●昭和30年卒 砂田吉子さま
- 昭和30年卒 瀬尾瑞枝さま●昭和32年卒 田名網和子さま●昭和37年卒 天野昭光さま
- 昭和42年卒 稲垣小夜子さま●昭和48年卒 安達 章さま●昭和54年卒 関本美輝さま

◆昨年(平成18年)、第20回総会後新役員に代わりました。

新しい役員は、会長/來山和義(28年卒)副会長/橋本文子(26年卒)、井上哲也(36年卒)、高田 稔(36年卒)、坂本昭博(38年卒)会計/佐藤松枝(39年卒)、廣江邦男(41年卒)、監査/占部勲司(31年卒)、池田朗子(32年卒)顧問/宮島幸路(17年卒)、徳永 巖(26年卒) よろしくお祈りします。

◆35年卒学年幹事が佐野禎信さんから伊地範子さん、山本良三さんに変わりました。

編集後記 from Editor

●年1回の発行のためなかなか"旬"な情報を提供できないのが残念ですが、年齢世代を越えて繋がりをもつことの意味を考えたいと思います。(さ)

●いかがでしたか? 広報誌は...20回の節目を迎え次なる同窓会の盛り上げは何かと考えるにあたり、やはりコシカないといふ一念発起、多くのみなさまのご協力により何とか発行までこぎつけることが出来ました。会員のみなさまの交友を深めるための一助になればよいという気持ちで頑張ります。(哲)

●創刊号(はじめて)というものは何を一体どうやったら良いのか分からないうちに何とかなるものです、なににごとも...次はもっともっと楽しもう!! (ふみ)

祝 Ashibi 創刊

福山葦陽東京同窓会広報誌tokyo Ashibi(とうきょう・あしび)創刊号は下記の皆様のご協力、ご支援を頂き発行することが出来ました。

風水力機械メーカーのパイオニア

“技術創生”

代表取締役
昭和35年卒 渡邊 昌信



株式会社 電業社機械製作所 DMW CORPORATION
〒143-8558 東京都大田区大森北1-5-1 (大森駅東口ビルディング)
TEL: 03-3298-5115 FAX: 03-3298-5149 http://www.dmw.co.jp

代表取締役
昭和38年卒 本瓦 定美



- BackEnd(大型機)系 ソフト開発(COBOL等)
- Web系 ソフト開発(JAVA/PERL等)
- C/S系 ソフト開発(C/VB/COBOL等)
- 技術コンサルタント
- コンピューター関連教育
- コンピューター及び関連機器の販売

株式会社ソフトウェアサービス

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-2-12 松下産業ビル3階
TEL: 03-3367-8611 FAX: 03-3367-8614 http://www.sws-inc.co.jp

代表取締役
昭和36年卒 井上 哲也

バツグンの脱臭剤!

脱臭職人

(業務用強力脱臭剤)

株式会社 タス

〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-5-2 原島ビル4F
TEL: 03-3861-7646 FAX: 03-3865-1563

◆お預かりしている旧制高女卒同窓会よりの繰越金の一部を御厚意により活用させていただきました。

◆東京同窓会役員・幹事会有志

◆各学年幹事、同期会、会員有志のみなさまより多数ご協力いただきました。

創刊号につき、時間の関係で会員の皆様全員にはご協力のお知らせが出来なかったことをお詫び申し上げます。

Ashibi 創刊!!

福山葦陽東京同窓会の広報誌が出来ました。

tokyo
Ashibi

『あしび』と読みます。

「葦＝あし 陽＝び」は母校では昔よりあしび祭(文化祭)と称して
永年親しみのある呼び名です。我が福山葦陽東京同窓会広報誌の呼称としても
母校をイメージするにふさわしいものと思います。福山葦陽東京同窓会会員のみなさまに年1回の配布を予定しておりますが、
企画・編集スタッフはなにぶん経験のない者ばかりでのスタートです。

スタッフとして文章なら任せて、WEB・ホームページ作成、

写真ならオレに撮らせる、インタビューは私に、

記事を提供していただける方…などなど、

協力、参加大歓迎致します。(助けてください)

様々なジャンルでの力強い協力者を求めます!

会員の皆様楽しく読んでいただき、

届くのが楽しみだ、と言われるような広報誌に

みなさまで育てていきましょう。

編集長 ● 井上哲也
(S.36卒)

広報誌 Ashibi 編集室から

福山葦陽東京同窓会20周年を終え、皆様のご協力により念願の広報誌創刊に至りました。
そこで会員の皆様をお願い…

- 1 次号の広報誌に掲載したい、掲載してもいいよ、掲載してほしい記事・紹介 etc…がありましたら、
下記の「福山葦陽東京同窓会掲示板」か、編集室(寄国)までご一報下さい。
大ネタ・小ネタ、たくさん揃っているほうが、充実した誌面になりますので是非よろしくお願い致します。
- 2 広報誌発行に資金援助(広告、寄付)もよろしくお願い致します。
- 3 毎年同窓会のご案内が数通宛先不明で戻ってまいります。
皆さまの周りに引っ越しをされた同窓生、この広報誌が届かない同窓生がいらっしゃいましたら
是非お知らせください。

ご意見・ご感想
お問い合わせは

福山葦陽東京同窓会掲示板

<http://mnt3.dip.jp/iyou.html> パスワード iyou

編集室 ● 〒180-0006 東京都武蔵野市中町1-19-2矢島ビル (有)ビッグバン/寄国まで



表紙の写真 [01]

陽の誌(ひのしるし)
旧福山葦陽高校跡地、西南角にある
記念碑です。
県立博物館の入り口に位置し、当時の
面影は今はありませんが、一度訪ねて
見るとまた懐かしさがこみ上げてきます。
1990年(平成2)6月3日建立。
写真提供/小丸順子(福山副会長)

tokyo Ashibi 01

平成19年7月31日発行(年1回)

スタッフ

発行人 ● 來山和義 (S.28卒)
編集長 ● 井上哲也 (S.36卒)
編集 ● 橋本文子 (S.26卒) 田丸佐知子 (S.40卒)
黒田真理子 (S.42卒) 神 敏子 (S.43卒)
寄国 聡 (S.45卒)
編集協力 ● 学年幹事ほか
広告担当 ● 井上哲也